

平成30年度 くまもと・わくわく基金 冠基金 東京エレクトロン九州・マツチングギフト

事業報告

団体名： 特定非営利活動法人 優里の会

助成事業名： 「里親制度の普及啓発と
支援を強化するための事業」

(1)実施内容-1

・里親制度の普及啓発と児童の福祉を考えるための講演会

- ・講師 坂口 伊都さん
- ・日時 平成31年5月26日(土)
- ・内容 CRC親子プログラムの紹介
「CRC親子プログラム」とは、
虐待の再発を防ぐための
親子支援のためのプログラム



**子どもも親も幸せになる
親子支援** 参加費
500円

～親が子どもの安全基地になれるよう一緒に歩むCRC親子プログラムふあり～

日時 平成30年 5月26日(土)
13:30 受付 / 14:00～16:00

会場 熊本県総合福祉センター
5F 研修ホール
熊本市中央区南千反畑3-7

講師紹介 坂口伊都さん

特定非営利活動法人チャイルド・リソース・センター(CRC)スタッフとして、親子関係再構築プログラムのスタッフとして活動。その他、養育里親として小学6年生の子どもを養育しながら、「食育里親～もうひとつの家族～」を対人援助マガジンで連載中、社会福祉士、精神保健福祉士、保育士。

託児あります・要予約
定員になり次第締め切らせていただきます

***申し込みは裏面をご覧ください**

児童虐待の件数は年々増加し続け、深刻な虐待のニュースは後をたちません。児童相談所などは緊急避難的に児童を保護することに追われており、虐待の再発防止に欠かせない親子関係再構築への支援は十分におこなわれていないのが実情です。虐待の再発を防ぎ、親が子どもにとって安心な存在となるにはどうすればいいのでしょうか。その問いにCRC(チャイルド・リソース・センター)は、カナダで虐待の再発防止に成果をあげている親子支援プログラムを参考に、親子関係再構築プログラム(CRC 親子プログラムふあり)を開発、提供しています。里親はもちろん、里親支援にかかわる関係者だけでなく、昨年発表された「新しい社会的養育ビジョン」にもあるように、地域の子育てを支援する関係者にも、また子育て中でお悩みの方にも聞いていただきたい内容です。

優里の会
特定非営利活動法人
862-0910 熊本市東区備事本町1-22 東部ハイツ101号
TEL070-5485-8365 FAX096-202-4274

優里の会ホームページ <http://yuurinokai.xsrv.jp>
Facebookページもあります
✉ yuurinokai@yahoo.co.jp

優里の会は、里親・里子の支援と、里親制度の普及啓発を目的とした団体です。

(1)実施内容-2

- 区民祭り等において、広く市民に里親制度の理解を促す広報啓発活動(パネル展、アンケート、チラシ配布)



9/
23 東区民まつり



9/
30 北区子ども祭り



11/
10 はあもにい
フェスタ



3/
17 西区駅前
フェスタ

(2)助成金の活用

- 講師招聘(旅費、謝金)
- パネル展の材料費(掲示物、チラシ、アンケート、装飾など)
- 助成金によって里親制度を含めた児童福祉に関する講演会を開催することで、関係者への啓発活動につながった。
- また、パネル展の材料費によってより多くの区民祭り等へ参加された方へ里親制度の周知をすることができた。

(3)成果、市民の声(参加者やサポートを受けた方)-1



- 「定期講演会」
- 成果：参加者が日頃の業務や子どもの養育に生かせる内容だった
- 参加者の感想
- 「日頃の仕事上で役立つ情報をたくさんで、今後の子どもたちや親との関わりで役立てたい。」
- 「自分の仕事だけでなく、自身の子育てのふり返りになりました。本当に、子育てまっただ中のつらい時に聞けたらと思いました。」

(3)成果、市民の声(参加者やサポートを受けた方)-2



- 「里親制度啓発のパネル展」
- 成果：より多くの区民祭り等へ参加された方へ里親制度の周知をすることができた。
- 参加者の反応
- 里親制度への理解度：平均95.3%(159名)
- 里親制度への関心度：平均94%(166名)
- そのうち、里親登録を検討1世帯

(4)今後の事業展開

- これからさらに、新たな里親のなり手を増やしていく
- 具体的な内容
- さまざまな場所、機会をみつけてチラシを配布
- 関心のある方へ丁寧な説明と対応
- マスコミとの連携、インターネット、SNSなどさまざまな広報手段の活用
- 社会的養護の必要な子どもたちへの理解を促す
(子どもは社会みんなで育てる意識の養成)